

1 全体事業概要

事業名	三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業
事業概要	神奈川県及び三浦半島4市1町の広域連携による事業として、平成28年度から平成31年度までの4ヵ年計画で実施しているもので、鎌倉市では平成29年度から3つの構成事業を実施している。事業概要としては交付金の実施計画で次のとおりとしている。 県では、市町との緊密な連携の下で、地域が一体となって、それぞれの事業に取り組む「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を策定し、「観光」と「暮らし」に焦点を当て、「海」、「食」、「地域」、「働く」、「住む」の5つの魅力(＝政策目標)を最大化し、各政策を連携して機能させることによって、交流人口を増加させ、地域の賑わいをつくり、魅力的な地域とすることで、この地域で働き(仕事)、地域の中で生活する生きがいを創出し、定住人口を増加させ、人口減少に歯止めをかけることを目指している。 本プロジェクトを推進するにあたり、三浦半島は、東京、横浜などの大都市に近い割には、海あり、山あり、歴史ありという他の地域にはない優位性を持っている。こうした優位性を地域内外に上手く訴求できれば、人口減少、高齢化、地場産業の衰退という事象に対してテコ入れが図れるのではないかと期待感はあるが、県、市町、民間いずれも持っているが、それぞれが展開している対策(空家対策、子育て支援、企業誘致等)の地域間連携、事業継続性には疑問がある。 そこで、三浦半島の優位性を半島全体のイメージとして、プロモーションし、かつ、県・市町の様々な施策を訴求対象別の施策としてまとめあげ、事業効果を最大化する「司令塔」として三浦半島地域連携DMOを設立する。 三浦半島地域連携DMOは、半島全域の観光プロモーションやマーケティングと戦略推進などによる交流人口の増加を進める。 さらに三浦半島での充実したライフスタイル等の情報について拠点を整備して発信することにより、移住促進による人口減少の歯止めを図る。 これらの取組みを支えるものとして、基盤づくりや地域資源の磨き上げ及び地域課題への対応を市町が行うことにより、民間主導による地域経済の循環を生み出す先導的なモデルづくりを進めるものである。
鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	【基本目標】 2 鎌倉市の魅力に磨きをかけ、新しいひとの流れをつくる 【基本的方向】 2 観光振興やシティプロモーション等により、更なるブランド力の向上を図ります 【実施する事業】 10) 三浦半島魅力最大化プロジェクトとの連携

2 構成事業実績

①	事業名	海の魅力向上に向けたイベント	事業課	スポーツ課
		事業計画	平成29年度事業実績(主な成果を含めて記載)	
	【目的】	三浦半島地域の象徴ともなる海や海岸の魅力発信の仕掛けづくりとなるイベントを行う。	平成29年10月14日(土)、15日(日)に鎌倉マリンスポーツフェア2017を実施。ウインドサーフィンやビーチバレーなどのマリンスポーツ、ビーチスポーツの体験会等を行った。	
	【事業計画】	海水浴シーズン以外の期間の海岸を活用し、海の魅力を感じてもらおうと共に、オリパラ大会の開催に向け、マリンスポーツの楽しさを広め、経験してもらいイベントを開催し、大会に向けた機運醸成を図る。	【イベント参加者人数】 850名 (10/14:450名、10/15:400名)	
②			【平成29年度事業費】 4,655千円	
		課題・改善策	平成30年度 of 取組	
		当初予定していた鎌倉の海に親しむきっかけづくりとなるシンポジウムは、平成29年度は出演者との詳細な調整ができず中止とした。平成30年度は、早めの調整を行うとともに、多くの参加者が見込め、又、臨場感を感じてもらいながら聴いてもらえるようマリンスポーツフェアと同時開催(9/16)とする。	①鎌倉の海に親しむきっかけづくりとなるシンポジウムの開催 ②マリンスポーツフェアの開催	
			【平成30年度予算額】 6,000千円	
③	事業名	ヘルシータウン事業	事業課	市民健康課
		事業計画	平成29年度事業実績(主な成果を含めて記載)	
	【目的】	健康、観光を連携したアプリを作成、実証実験を実施し、「健康観光」を推進するとともに、「未病を治す半島宣言」の推進の一助とする。	平成29年10月に事業委託先を決定、アプリの開発、ポイント付与等の仕組み構築を行い、平成30年3月15日から運用開始。3月25日には、事業のプロモーションイベントを行った。	
	【事業計画】	ウォーキングに関する情報提供、体重・血圧等のデータの見える化、健康状態のセルフチェック機能、アプリ活用状況に応じてポイントを付与するアプリを開発・運用し、健康寿命の延伸及び「健康観光」を促進する。	【登録人数】1,401名(平成30年3月末時点) 【イベント参加者人数(3/25)】110名	
④			【平成29年度事業費】 16,096千円	
		課題・改善策	平成30年度 of 取組	
		登録人数の伸びが鈍化しているため、利用促進を図るべく、さらなるPRに力を入れるとともに、他事業との連携を強化する。(他課のイベントをポイント付与対象事業とすることで登録者数の増加を目指す等)現在、20歳以上の市民を対象としているが、今後、市内事業者の参加を可能とし、市全体の健康づくり活動の活性化につなげる。	①アプリの運用による市民等の健康に対する意識や行動変容の促進 ②専用ホームページにウォーキングマップ等を掲載することによる健康観光の促進	
			【平成30年度予算額】 7,800千円	
⑤	事業名	鎌倉ライフプロデュース事業	事業課	鎌倉国宝館
		事業計画	平成29年度事業実績(主な成果を含めて記載)	
	【目的】	世界に誇る歴史的・文化的遺産に恵まれた鎌倉の「文化財」をテーマに鎌倉の魅力を発信し、歴史や文化とともに暮らすまち「鎌倉」のイメージをプロデュースする。	①仏像模型を作成し、仏像の技法をわかりやすく学べる出張講座を実施【参加者人数:52名】 ②仏像に造詣が深い教授、漫画家、タレントを招き、仏像を主題としたトークイベントを実施【参加者人数:226名】 ③鎌倉国宝館学芸員のガイドで市内社寺2か所及び鎌倉国宝館を巡るツアーを実施(日、英2カ国語対応)【参加者人数:52名(日本語37名、英語15名)】	
	【事業計画】	鎌倉の文化財を様々な視点から捉え、魅力を伝えるためのイベントを実施する。	【平成29年度事業費】 4,314千円	
⑥			平成30年度 of 取組	
		市内社寺2か所及び鎌倉国宝館を巡るガイドツアー(日、英2カ国語対応)では、当日のツアー中、逐次通訳の時間が足りず、スケジュールに苦慮した。また周知が行き届かなかったため、今年度(他言語)のツアー募集においてはPRをより強化し、参加者増に繋げたい。	①文化財等魅力発信イベントの開催 ②文化財ガイドツアーの実施	
			【平成30年度予算額】 5,000千円	

3 KPIの実績

重要業績評価指標 (KPI)	初期値 (下段:本市単独の初期値)	平成29年度目標値	実績 (下段:本市単独の実績)
①三浦半島4市1町における入込観光客数	平成26年度 3,690万人 (平成26年度2,196万人)	3,850万人	未確定※1 (平成29年 2,042万人)
②各種イベント参加者数	0※2	5.3万人	12.5万人(達成率236%) (平成29年度 1,290人)
③三浦半島4市1町における社会増減	平成27年 △1,582人 (平成27年 70人)	△780人	△566人(達成率127%) (平成29年 744人)

※1 平成29年の入込観光客数は、県による公表が11月頃となる予定

※2 本交付金事業における各種イベント参加者数であるため、初期値は0人となる。

4 KPI達成に対する評価

評価	KPI未達成の場合の分析
KPI①については、未確定だが、三浦半島4市1町としてはKPI②③の目標値を達成し、概ね成果が得られたと考えられる。 なお、鎌倉市の実績値について、 ①は平成26年度の初期値を下回る結果となったが、減少した主な要因としては、夏季の観光客数減や、行楽シーズンである10月下旬、週末に連続して大型の台風が関東に接近したことなどによる客数減などが要因と考えている。 ②は3つの事業それぞれでイベントを開催し、多くの方に参加いただき、4市1町でのKPIに寄与することができた。 ③は平成27年の初期値を大幅に上回る結果となり、今後も様々な機会を捉え、鎌倉の魅力を多方面からPRすることで、社会増を保っていきたいと考えている。 いずれの事業についても、4市1町で連携して取組みを進めることにより効果が高まると考えられるとともに、事業による効果は長期的な視点で分析する必要があるため、今後も引き続き事業の推進を図る。 また、全ての事業について、課題への取組、改善は引き続き行っていく。	

5 外部評価



○	事業効果があった。
×	事業効果がなかった。

ご意見(評価できる点や今後に向けた改善点などを記載してください。)

- ・各市の事業を寄せ集めているように見えるので、開催時期や内容、テーマなど各市と連携して実施することで更に効果がでるのではないかな。
- ・4市1町外からの観光客を呼び込むだけでなく、4市1町内での人の循環を目的としてもよいのではないかな。
- ・鎌倉市で実施した事業によるKPIへの貢献度が見えづらいため、鎌倉市の事業での目標値を明確にすべき。
- ・各市との連携を深めることで、更に魅力的な取組ができるのではないかな。今後も期待したい。